

神奈川県「森林再生パートナー制度」覚書を締結

J&T環境株式会社（社長：露口哲男、本社：神奈川県横浜市、以下、「J&T環境」）は、神奈川県の「かながわ森林再生50年構想」の趣旨に賛同し、今年3月に県との間で「森林再生パートナー制度」※¹（以下、「パートナー制度」）の覚書を締結いたしました。

これは、当社が進めるESG※²における環境保全・社会共生活動の一環で、「パートナー制度」において、県の貴重な水源としての森林を次世代に繋ぐことを目的とした間伐作業などのプログラムに社員がボランティアとして参加し、県の森林再生の取り組みに協力してまいります。

5月24日には、今年入社した新入社員18名が南足柄市の「県立21世紀の森」で枝打ち作業を行い、環境保全の大切さへの認識やボランティアの意識を高めました。

また、「パートナー制度」で県が指定する公有林の一部に当社独自の名称を付けることができ、このたび名称を社内公募し、「J&T環境 未来来（ミラクル）Forest」と命名いたしました。

当社は、引き続きESGの取り組みを強化し、より良い地球環境の創造に貢献してまいります。

※¹ 森林再生パートナー制度について-神奈川県ホームページ

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/pb5/partner.html>

※² E = Environment（環境）、S = Society（社会）、G = Governanceの略称。企業が長期的に成長するための要件



「J&T環境 未来来（ミラクル）Forest」

■新入社員による枝打ち作業ボランティア



以上